



お知らせ

住みなれた地域で暮らし続けられるように

## 在宅療養についてきえよう

市では、在宅医療と介護の連携を図り、安心して在宅療養がで  
きるための支援体制づくりに取り組んでいます。在宅療養の相  
談窓口をご紹介します。

### 在宅療養について

#### 考えたことはありませんか？

元氣なときには、考える機会は少な  
いかもありませんが、人生の最終段階  
を迎えるころには、入院・治療や介護  
が必要になる場合が多くなります。

「住みなれた自宅で最期まで暮ら  
したい」と望んでいても、その介護の全  
てを家族だけで担うのは大きな負担と  
なります。また、状態が急変したとき  
の家族の不安も大きいものです。

もしものときに慌てることのないよ  
う、また、本人も家族も安心して穏や  
かに生活するための相談先として、在  
宅療養の相談窓口をご紹介します。

### 在宅療養の相談窓口

#### ○ケアマネジャー（介護支援専門員）

既に介護認定を受けている場合、担  
当のケアマネジャーが在宅療養の相

談に応じます。どのようなサービ  
スが受けられるか相談してみましょ  
う。在宅療養している人が入院する  
ときには、担当のケアマネジャーに  
伝えましょう。

#### ○地域包括支援センター（市内8か所）

保健師、主任ケアマネジャー、社会  
福祉士など専門の職員が、高齢者や  
その家族・友人・近所の人などから  
の相談に応じます。

#### ○高齢者支援課（市役所4階）

高齢者の在宅療養等に関する相談を  
受け付けています。

#### ○病院の相談室

ほとんどの病院には、外来・入院患  
者が心配事について相談できる窓口  
があります。治療方針や介護保険の  
申請、退院後の在宅療養などで不安  
があれば相談してみましょ。医療  
ソーシャルワーカーや退院調整看護  
師などの相談員が、本人や家族の相  
談に応じています。

### 問い合わせ

#### 高齢者支援課

☎(55)2616 ☎(55)2620

📧ho-koureisien@div.city.fuji.shizuoka.jp



お知らせ

誰もがありのままを認め合って

## LGBT等への理解を広げよう

社会にはいろいろな人がいます。その中には、誤解や偏見の中  
で生活し、誰にも言えず悩み苦しみ、自殺を考えてしまう人も  
います。誰もが否定されずに生きられる社会にしていくなために、  
まずは知り、理解を広げましょう。

### LGBTを知っていますか？

- L レズビアン（女性同性愛者）
- G ゲイ（男性同性愛者）
- B バイセクシャル（両性愛者）
- T トランスジェンダー（心と体の性  
の不一致）

の頭文字をとった総称です。ほかに  
も、自分自身の性認識や性的指向を決  
められないクエスチョニングや、性別  
が定まりきらないエックスジェンダー  
など、さまざまな人がいます。  
民間の調査によると、5〜8%（13  
人に1人程度）がLGBT等の性的少  
数者に該当するという結果が出ていま  
す。

### ひとりで悩まず話をしてみませんか

- ①多文化・男女共同参画課（市役所3階）  
相談時間／平日 8時30分〜17時15分  
相談方法／予約は不要です。直接、多

#### 文化・男女共同参画課へ

- ②女性のための相談室（フイランセ）  
相談時間／平日 9〜12時、13〜16時  
相談方法／事前に予約が必要です。電  
話で、女性のための相談室へ

☎(64)8997

### 講演会を開催します！（参加費無料）

日本で初めて性的少数者であるこ  
とを公表した上で、東京都世田谷区  
議会議員に当選した上川あやさんに  
よる講演会を開催します。

とき／1月29日（水）13時30分〜15時  
ところ／消防防災庁舎7階大会議室  
申し込み／1月21日（火）までに、  
電話またはメールに住所、ふりがな氏名、  
電話番号、託児希望の有無（希望  
する場合は子どもの氏名・ふりがな年齢・  
アレルギーの有無）を記入し、多  
文化・男女共同参画課へ

### 問い合わせ

#### 多文化・男女共同参画課

☎(55)2724 ☎(55)2864

📧si-danjo@div.city.fuji.shizuoka.jp



LGBTへの理解を  
示すため窓口にレ  
インボーフラッグ  
を設置しています